

9月
定例会

いたやなぎ 町議会だより

第3号
2014年11月14日発行
青森県板柳町議会

4人が一般質問 P2
決算特別委員会 P6
おらほの議員(委員会) P8

表紙：津軽りんご市場「板柳主力品種ふじ」

町民の声を町政に

第11回定例会一般質問

第11回板柳町議会定例会が、9月1日から11日までの日程で開催され、5日に行われた「一般質問」に、4名の議員が登壇しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。



三戸 玲子

高齢者ひとりの暮らし

問 板柳町の65歳以上高齢者ひとりで暮らしの人数は。その中で認知症と思われるの方々を把握しているのか。また、高齢者対象の町事業について尋ねたい。

答 (館岡町長) 今年4月1日では、男性160名、女性382名、その中で要介護認定者のうち、日常生活自立度判定基準Ⅱ以上に該当する認知症高齢者は、男性4名、女性20名である。福祉関係では、老人無料入浴券配付、紙おむつ支給給付、在宅福祉サービスなどの事業のほか、社会福祉協議会への委託や補助事業として、ほのぼのコミュニ

二テイ21推進事業、ふれ合い昼食会、福祉安心電話サービス事業など、介護保険関係では、在宅介護用品支給、徘徊高齢者家族支援サービスなどの事業、また町が運営委託する地域包括支援センターでは、介護予防や成年後見人制度利用支援などの事業を行っている。

成年後見制度

問 今の時代、ひとり暮らしや非婚の方が多くなってきた。元気なうちにこの制度を利用する方々が増えてきたと言われているが、この制度について町長の考えを尋ねたい。

答 (館岡町長) わが町では現在法定後見制度の登録者は13名、任意後見制度の登録者はいない。この制度への理解や周知などが更に必要となってくる。地域包括支援センターでは昨年度、民生児童委員定例会で制度概要説明会の実施

や一般の方を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。今後も制度の利用支援などの活動を支援したい。

板柳町民歌

問 町民歌は町村合併20周年を記念して昭和50年につくられ、今でも色あせることなくのびのびと歌われているが、今では知る町民の方々が少ないような気がする。町民歌は歌う人たちが一体感になるとも素晴らしい歌であると思うので、町の行事などの最後に歌ってはどうか。

答 (館岡町長) 町民歌は、町式典などの開会の際に歌われたり、季節的に夕方方の無線放送でチャイムとして使用している。今後、学校や町の行事等で、できるだけ使用できるように状況をつくりたい。

板柳音頭

板柳音頭は、無形文化財的なものとしてとても価値があると思うが、この辺で今の時代にマッチした若い人が飛び込んでくれるようなものも必要と考えるが。

問 板柳音頭は、無形文化財的なものとしてとても価値があると思うが、この辺で今の時代にマッチした若い人が飛び込んでくれるようなものも必要と考えるが。

答 (館岡町長) いろいろな団体の意見も聞いて今後検討したい。

高齢者以外の救急あんしんカード

問 高齢者以外にもひとり暮らしの方が増加している。突然の病気やケガなど救急搬送時に救急隊は受け入れ先の病院探しの情報が必要である。あらかじめ氏名や生年月日、血液型、かかりつけ病院などを記入した「救急あんしんカード」を自宅の電話の近くや身の回りなどに用意しておけば、119番通報し、駆けつけた救急隊員へ情報を伝える場合に、あわてずスムーズに行うことができる。また、外出時に携行していれば、知らない場所にいっていても、助けてくれる周囲の人や駆けつけた救急隊員に情報として知らせることができる。必要性が高まってきたと思うので導入の考えを尋ねたい。

答 (館岡町長) 導入できるように検討したい。



長内 良蔵

岩木川の河川堤防

問 近年の気象変動により、日本では強大化する台風の来襲やゲリラ豪雨などの影響で甚大な被害が各地にもたらされている。津軽地域でも例外なくゲリラ豪雨による河川の増水で岩木川流域のりんご園地を中心

ける。また、外出時に携行していれば、知らない場所にいっていても、助けてくれる周囲の人や駆けつけた救急隊員に情報として知らせることができる。必要性が高まってきたと思うので導入の考えを尋ねたい。

に被害が頻出し心配である。自然災害から当町住民の方々の生命や資産を守りたい、岩木川水系右岸の板柳町側の河川堤防は完成しているが大丈夫だろうか。河川堤防は住民の生命と資産を洪水から防御する極めて重要な構築物である。私が目測で見ると表町から岡本にかけての河川堤防約300メートルほどがほかの整備済みの河川堤防より約1メートル位低いように見えるが実際に低いのかどうか尋ねたい。

答

(館岡町長)

国土交通省青森河川国道事務所を確認したところ、表町の岡本地区約350メートルの区間で、他に比べ約50センチメートル低いとのことである。その理由は積雪寒冷地の凍結深度を考慮しない堤防舗装の厚さを検討するため、試験的にこのような高さで施工した。防災上計画洪水規模に対しては、必要な堤防の高さは確保されているとの説明である。

かさ上げ再整備

問

対岸の弘前市大川地区には昨年台風18号の水害のあと、以前より強固な河川堤防が整備されている。もし今後河川が増水し、板柳町側の低くなっている河川堤防のあたりから氾濫したことを考えると心配であるので、低い部分の河川堤防のかさ上げの再整備を早急に国に要望してほしい。

答

(館岡町長)

再整備が必要かどうかも含め国土交通省と協議しながら、積極的に強力に要望したい。

答

(館岡町長)

雑木伐採や河道掘削については、これまで流域市町村が連携して国に要望してきた。本年度は当町の播龍橋と津軽りんご大橋を含む4キロメートルの区間で予定され、現在工事進行中である。他区間についても引き続き要望したい。



今 浩一

問

岩木川河川敷に雑木がたくさん生い茂っていることで増水した水流が変化し、りんご園地に流れこむことを助長しているように思えるので、そこを調査し対処してほしい。

河川敷の雑木伐採

問

県の研究指定を受け、平成23年度から3カ年度で板柳町内小中高の学校連携によるキャリア教育推進啓発を板柳中学校を中心に実践し、その成果が認められ文部科学大臣賞を受賞した。このキャリア教育について、今後どのように行

答

(中谷教育長)

計画、実行、評価、改善のサイクルにより、より良い実践を目指すよう指導したい。なお、県教育委員会で平成26年度の施策の柱の一本として、小中高でのキャリア教育推進、充実を目指している。

板柳高等学校への町の後方支援

問

板柳高等学校は今年創立76年の伝統校で、多くの板柳町民の母校でもある。生徒には町関係各種イベントでボランティアとして協力をいただいている。少子化に伴い、県内高校の再編成が検討されており、存続に向けて県へのアピールなど、町の後方支援をどのように考えているのか尋ねたい。

答

(館岡町長)

就業体験で役場関係課に板柳高等学校の生徒を受け入れてい

る。今後ともこの学校が特色ある教育活動を実践していく上で、人物、事を必要とする際には、最大限応えながら存続に向けて色々な面で支援したい。

りんごに関するクラスの新設要望

問

小中高連携によるキャリア教育を3年間行い、実績が認められ表彰された町板柳は、全体目標に日本一のりんごの里づくりを掲げ、町長は町づくりは人づくりとも言われている。地元板柳高等学校にりんごに関して勉強できるクラスの新設を県に要望してほしい。

答

(館岡町長)

県と色々話を持ちたい。クラフト小径

問

このイベントの来場者は約2万人で町PRに一役買っていると思う。町商工

答

(館岡町長)

町の各商店街や商店主の方々が、このイベントを積極的に活用され、町そして商店街の活性化、更には町PRにつながることに期待している。今後、経済効果について試算したい。

まが婚

問

後継者育成や嫁不足解消に向けてこの婚活事業を行っている。町からの予算は今年度で終了となるが、今後も支援してほしい。

答

(館岡町長)

町有志の方々の努力で盛況であるこのイベントに対し、町はPRや必要なものに大いに支援したい。



米政策の転換

問 3月定例会の追加的質問になる。国は米の直接支払い交付金10アール1万5千円を7千5百円に減額、29年度で廃止し、飼料用米の支援強化、多角的機能支払いの創設などを柱とする経営所得の安定対策と米政策の見直しを決めた。余りのせつ速なやり方に、米作農家は希望を持ってない農政に怒りがこみ上げているのではないか。私も同様である。このようなことから、米作農家に対する十分な配慮をもって検討していただきたい。町長の3月定例会の答弁は、町としても大規模米作農家や営農集団

への集積を推進する必要があると考えている。飼料用米、備蓄米、果樹などの戦略作物を付付けし、これらの交付金を最大限いかしながら農業所得の安定化を目指してほしい。と米作農家には、そのような時間と余裕がない。平成29年度に交付金が廃止されるまでの間、町単独補助金を交付することを考えてほしい。米作農家の将来の経営に対する危機、町長の施政方針を尋ねたい。

答 (館岡町長) 大豆、飼料用米などの交付金は平成30年度以降も継続される予定であるが、町で何ができるか今後真剣に考えなければならぬ。10ヘクタール以上の経営規模でないで経営維持が難しくなると想定する。まずは農業委員会のあつせん、中間管理機構などを活用し、大規模化を図る必要がある。その上で、大豆をはじめとした国の戦略作物への転作を促進していきたい。また、小規模米作農家への対応として集落営農組織への参加あるいは大規模農家への貸し付け、施設栽培や果樹転作など他作目への転換を促進していくかなければならない。来年度、総合的に予算に反映できるように検討したい。

問 以前、減反政策の時は、国で定めた補助金に更に1万円町単独で出していた。私は非常に良いことだと思っている。ぜひ今度も米の直接支払い交付金が平成29年度廃止になるまでの間、町単独で補助金を出してほしい。町単独の補助金を出している期間に小規模米作農家に十分な覚悟を持って農業を継続

する。小規模米作農家への対応として集落営農組織への参加あるいは大規模農家への貸し付け、施設栽培や果樹転作など他作目への転換を促進していくかなければならない。来年度、総合的に予算に反映できるように検討したい。

答 (館岡町長) 国は細やかに考えず対策を出したと思っている。実際農家の生活は大変になると思っている。農家の生計をどのように立てていくのか真剣に考えなければならぬ。議員の要望とあわせて新年度色々な面に対応していくよう検討を進めた。



町職員の再任用及び定年制

問 年金の支給年齢が段階的に65歳に引き上げられる。地方公務員の定年退職年齢60歳が延長されない限り退職しても無収入期間が生じる由々しき問題と思う。当町には職員の再任用に関する条例はあるが、運用について尋ねたい。また、かなり早い時期から60歳定年制の見直し論が取りざたされているが町長の考えを尋ねたい。

答 (館岡町長) 長期の無収入期間が発生しないように人事の新陳代謝を図りながら、年金の一部支給開始年齢までの期間の長さを考慮して平成28年度から実施する方向である。定年制は、現状では人件費の抑制などの検討課題もある。今後の国、県の動向を注視して対応したい。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は12月です。

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。本会議は10時に開会します。なお、傍聴できる人数は51人となっております。

<議会日程のお知らせ(予定)>

月日	内 容	
12月4日(木)	本会議	特別委員会報告等、提案理由の説明
12月10日(水)	本会議	一般質問
12月11日(木)	常任委員会	総務産業厚生・福祉建設文教
12月12日(金)	本会議	委員長報告等、質疑、討論、採決

一目でわかる審議結果

第11回定例会9月提出議案

議案	結果
専決処分（平成26年度一般会計補正予算）の承認	全員承認
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること（新任・成田純一氏）	全員可決
板柳町税条例の一部改正	全員可決
平成25年度板柳町水道事業会計未処分利益剰余金の処分	全員可決
平成26年度補正予算（板柳町一般会計ほか5件）	全員可決
平成25年度各会計決算の認定	全員認定
板柳町教育委員の任命同意（新任・阿部隆義氏）	全員同意
議員発議「政府による緊急の過剰米処理を求める意見書」	全員可決
【報告】平成25年度板柳町健全化判断比率	
【報告】平成25年度資金不足比率	
【報告】一般財団法人板柳町産業振興公社りんごワーク研究所経営状況	
【板柳町都市計画審議会委員の推薦】齊藤直飛人議員辞職に伴い新たに佐藤洋治氏を推薦	

※専決処分とは・・・議会の議決または決定すべき問題のうち、急を要する問題などを、町長が議会に代わって意思決定することをいいます。町長が専決処分を行った場合は、直近に開かれる議会に報告し、承認を求めなければなりません。

議会の動き （7月～9月）	開催日	会議等名	出席議員	
	【7月】			
	7月1～3日	議会基本条例制定調査特別委員会視察研修	成田委員長、委員等	
	7月7日	町例月検査（監査）	安田(久)議員	
	7月10日	県下町村議会議員研修会	議員	
	7月14日	議会運営委員会（8・9月会議等）	北島委員長、委員	
	7月16日	町議会だより編集特別委員会	葛西委員長、委員	
	〃	議員県内視察研修（三戸町）	安田議長、議員	
	7月22日	町議会だより編集特別委員会	葛西委員長、委員	
	7月23日	弘前地区消防事務組合議会臨時会	今議員	
	7月24日	西北津軽郡町議会議長会議	安田議長、成田副議長	
	7月31日	三重県亀山市議会緑風会視察研修	成田副議長	
	【8月】			
	8月1日	議会基本条例制定調査特別委員会	成田委員長、委員等	
	8月5日	町例月検査（監査）	安田(久)議員	
	8月7日	議員全員協議会（町諸案件等）	安田議長、議員	
	〃	国民健康保険運営協議会委員等研修会	議員	
	8月20日	西北五福祉事務組合議会定例会	三戸議員	
	8月22日	国民健康保険運営協議会	議員	
	8月25日	議員全員協議会及び議案説明会	安田議長、議員	
8月28日	県町村議会広報研修会	議員		
8月29日	議会運営委員会（定例会案件）	北島委員長、委員		
【9月】				
9月1日	本会議（定例会日程、町長の提案理由等）	安田議長、議員		
9月4日	町例月検査（監査）	安田(久)議員		
9月5日	本会議（一般質問・4人）	安田議長、議員		
9月8日	総務産業厚生常任委員会（所管事務調査）	長内委員長、委員		
〃	福祉建設文教常任委員会（所管事務調査）	佐藤委員長、委員		
9月9日	決算特別委員会（平成25年度決算審議）	北島委員長、委員		
9月10日	決算特別委員会（平成25年度決算審議）	今副委員長、委員		
〃	議員全員協議会及び追加議案説明会	安田議長、議員		
9月11日	本会議（委員長報告、採決、閉会）	安田議長、議員		
〃	議会基本条例制定調査特別委員会	成田委員長、委員等		
〃	町議会だより編集特別委員会	葛西委員長、委員		

決算特別委員会

25年度の各会計決算の認定については、議員全員で構成する決算特別委員会（委員長・北畠弘美議員／副委員長・今浩一議員）を設置し、9月9日・10日の2日間にわたり審査しました。

全9会計の審査で、数多くの質疑応答がありましたので、その中からいくつかをお知らせします。
※25年度各会計決算の詳細については、広報いたやなぎ10月号に掲載されています。

【質問】葛西清人委員

ふるさと納税の収入額は211万8千円となつている。現在町では、1万円以上の納税者に3千円相当のりんごワーク研究所のジュース詰め合わせを送っているが、今後、段階的に板柳をPRする特徴あるものを検討してみたい。

▼齋藤税務課長

ふるさと納税は年々増えており、納税額に応じた特産品等を考えていきたい。

【質問】今浩一委員

アップルモーターに係る年間電気料は。またアップルモーターのせせらぎ水路は時間を決めて通水しているが、一日中通水してはどうか。

▼村上建設課長

照明及び水路ポンプの動力電気料合わせて、210万1240円かかっている。せせらぎ水路は3カ所のポンプを使用しており、冬場を除いた8ヶ月で

24時間水を流すと電気料は約1400万円の試算となる。通水時間については、環境にも配慮して経費とのバランスを考慮し、効率よく運営していく。

【質問】成田肇委員

消防の広域化に伴い、板柳町の救急車の配備が2台から1台体制となった。人命尊重からも2台配備の体制を。

▼館岡町長

救急車もう1台の配備については、施設・車両は町負担という契約なので、全体の救急車の配備計画、行動計画がどうなるか話し合いをしてみたい。

【質問】館岡精一委員

水稲展示圃設置費補助金5万円に係る館野越地区の展示圃は、今年早くから倒伏していたが、展示圃の目的は。

▼石澤経済課長

農家の皆さんに現場を見ていただき活用してもらおう。また、県の

観測圃場になつていて、県でいろいろデータ収集している。

【質問】三戸玲子委員

25年度決算でゴミに係る経費は町民1人当たりいくらか。また、ふとんなどゴミ袋を何枚も必要とする大きなゴミ対応のステッカーがあればいいと思うが。

▼櫻庭町民環境課長

ゴミの経費は1億4122万4千円、町民1人当たり9565円である。大きなゴミ対応のステッカーについては検討してみたい。

【質問】長内良蔵委員

高齢のため、石野地区水田を譲渡または貸与したいが、借り手がなく困っていると聞き、確認してみたところ三千石・赤田・石野地区はまだ区画整理がされていない。農業委員会ですのような話が出てくるのか、また会長としての見解は。

▼三戸農業委員会会長

質問にあった石野地区は、農道も大変狭く、U字溝も入っていない。今年の春に相談を受けたが借り手がなく、改良区にも確認したが手をつけられないとのこと、農業委員会としても大変困っている。石野・野中地区はこれからそのような農地が増えてくると思うので、町と協力して検討していきたい。

▼石澤経済課長

①は国の補助事業で、51件、スピードスプレーヤーや高所作業車等61台、総事業費は1億4199万7740円。26年度は西北五管内市町村全て不採択である。現在27年度募集中だが、採択については不透明である。

【質問】佐藤洋治委員

①経営体育成支援事業補助金(4257万9千円)②農作業省力化対策事業費補助金(406万1千円)の各々の件数・種類・総事業費と来年度の予定について。③交信攪乱剤購入助成事業費補助金(186万7千円)の件数と面積について。また、今後は海外向けりんご栽培に「ナシヒメコン」を取り入れて行く必要があると考えるが。

③はJ A津軽みらい

がコンシューマーを対象に実施している事業に町がバックアップしているもので、事業主体はJ A津軽みらいで、面積は約10町歩。「ナシヒメコン」については、県リンゴ研究所等から効果等について情報収集し、J A津軽みらいとも協議しながら検討してみたい。

総務産業厚生 常任委員会

議案審議の主なもの

■がんばる地域交付金
Q 新聞記事で、当町の交付金配分額が近隣市町村と比べると少なかったが、その理由は、A 国の補正予算に該当する事業そのものが当町では少なかったことによるものである。

■ふるさとセンター
Q コテージの稼働率は。また、タウンページに掲載してもっとPRしてはどうか。
A 平成25年度の稼働率は36・1%（24年度は34・4%）である。タウンページへの掲載は前向きに検討する。

■農地中間管理機構
Q 制度の概要は。
A 農地を貸したい農家（出し手）と借りたい農家（受け手）の中間的受け皿（機構が借り受けて、担い手に転貸する）。制度の利用で要件を満たせば機構集積協力金が受けられる。

■町有財産
Q 廃校になった施設や旧小学校にあった像など売却してはどうか。

・施設については活用等について、現在プロジェクトチームで検討している。その結果報告をもとに検討していく。像などは歴史的なものなので、地域の方々と話し合いをして、保存・売却など対応を考える。

福祉建設文教 常任委員会

議案審議の主なもの

■農道舗装
Q 今後の計画等は。
A 農業組合長からの要望を、現場を見て各地域とのバランスを考慮して、計画的にすすめていく。

■原子力施設立地振興対策事業助成金
Q 26年度だけの事業なのか。
A 昨年度で終了した県の原子燃料サイクル事業推進特別事業助成金にかわる新制度で、今年度を含め5力年を予定している。

■保育所等処遇改善費用補助金
Q 以前、人件費に係る経費での処遇改善と伺ったが、実績報告の内容は。
A 保育所の裁量により

一時金での支給となっている。
■板柳町公営住宅等長寿命化計画策定業務委託料
Q 調査後の計画は。
A 公営住宅を寿命を迎える前に徹底して修繕することで、最終的には長もちし経費の削減につながるという目的で調査をした。その結果に基づきメンテナンス全般について、国の助成制度等を研究しながら、計画的に進めていく予定である。

■側溝蓋上げ機
Q 現在で10台確保になったが、もう少し増やしてもいいのでは。
A 貸し出しの運用状況を見て、対応していく。

青森県町村議会広報研修会

8月28日、青森県共同ビルにおいて開催された、青森県町村議会広報研修会に、議員3名と事務局職員1名が参加しました。

◆講師 芳野政明氏（広報・編集コンサルタント）
◆講演
①「議会報の基本と編集技術」
②「町村議会広報のクリニック」



板柳町も創刊号を講評していただきまし。ドキドキでしたが、講師の先生より「まずは創刊できておめでとう。」と言われ、安堵しました。また、「町民に開かれた議会をお知らせするために、読者は大事なことで、読者は議場にいないこと、町民が主役だということとを忘れないで、そして写真とバランス良く動きのあるものが必要だ。」と言われ、編集スタッフ共々、更に充実した議会だよりを届けるために、がんばらなくてはと思ひ帰路につきましました。

（議員 三戸 玲子）

★「国保永年勤続者表彰」葛西清人議員が、現職で国保運営協議会委員を10年以上勤めたことにより、青森県国保団体連合会から表彰を受けました。



陳情

・政府による緊急の過剰米処理を求める陳情

採択
・農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する陳情

要望

・これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書

継続審査

継続審査

おらほの議員（委員会）

委員会には、常に設置されている常任委員会、議会運営委員会と必要に応じて設置される特別委員会があります。議員は必ず1つの常任委員会に所属することになっています。

※平成26年10月1日現在 ◎委員長 ○副委員長

◆常任委員会

議会に常に置かれている委員会で、議会の予備的審査・調査機関といわれており、板柳町には次の2つの常任委員会が設けられています。

名称	定数	所管事項	名簿
総務産業厚生 常任委員会	6名	総務課、企画財政課、税務課、 会計課、経済課、議会事務局、農 業委員会、病院及びふるさとセン ターに関する事項並びに他の常任 委員会の所管に属しない事項	◎長内 良蔵 ○安田 久五郎 安田 弘 北畠 弘美 三戸 玲子 成田 肇
福祉建設文教 常任委員会	6名	町民環境課、健康福祉課、建設 課、上下水道課、教育委員会に関 する事項	◎佐藤 洋治 ○今 浩一 館岡 精一 田中 達男 葛西 清人 (欠員1名)

◆議会運営委員会

議会が円滑に、しかも効率的な運営をするために設けられ、会期や議案の取り扱いなどについて協議します。

◎北畠 弘美
○葛西 清人
佐藤 洋治
館岡 精一
田中 達男

◆特別委員会

臨時的な案件、特に重要な案件などについて必要がある場合に設置され、調査又は審査をすることができ、その目的が達成されれば廃止されます。

- ・予算及び決算特別委員会
- ・議会基本条例制定調査特別委員会
- ・いたやなぎ町議会だより編集特別委員会

編集後記

10月12日(日)、晴天に恵まれたこの日、りんこの里板柳まるかじりウォークに娘と参加しました。コース周辺の畑には「りんご」が沢山実り、りんご農家の方々が、休み返上で仕事をしている姿がとても眩しく思え、収穫の秋、そして板柳らしさを実感できた一日を過ごす事ができました。県内外からの約千人の参加者の人達にも、「板柳町の秋」の光景が伝わった事と思います。

この私たちの故郷を守り、子ども達に誇れる町にしたいものです。

見慣れた光景も歩いて見ると普段とは違った板柳町を発見できるかもしれませんよ。一度試してみてはいかがでしょうか。

(副委員長 今 浩一)

【発行責任者】

議長 安田 弘

※第4号発行予定は平成27年2月13日頃です。
議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。